

研究テーマ：ATM回線における特殊映像機器遠隔利用実証実験(1/2)

(プロジェクト番号JGN-G12002)

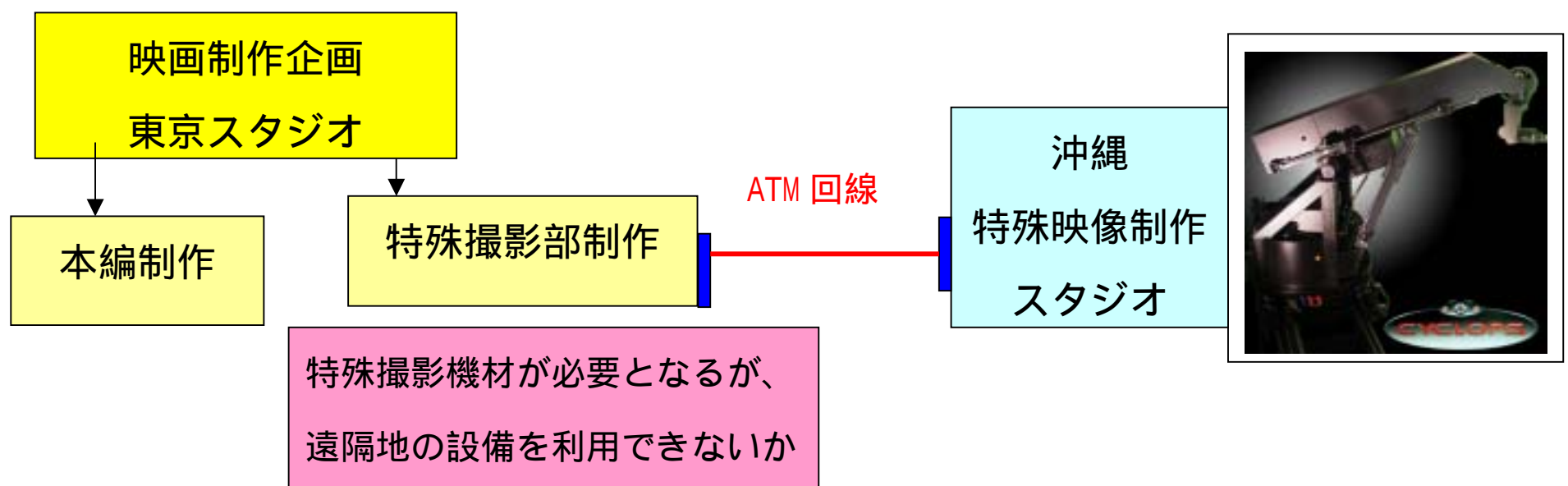
研究機関： F R O M沖縄通信コスト低減化研究開発協議会(株)アンフィニ・エンタテインメント・テクノロジー

研究の概要：

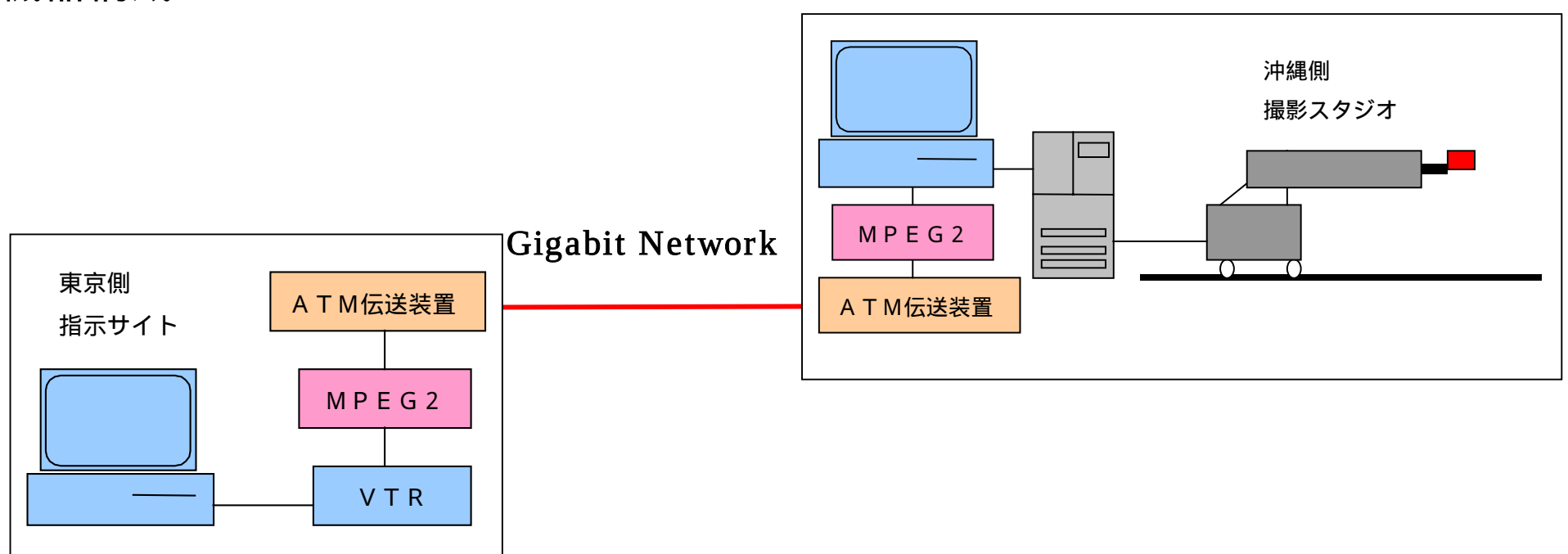
本研究は沖縄に設置した特殊映像制作装置と東京に設置した映像再生装置を MPEG 2 の変復調装置を介してATM回線で接続する実験システムを構築し、遠隔地間協調作業における特殊映像制作の実証実験を行っている。

特殊映像制作装置は、モーション・コントロール・カメラと呼ばれるコンピュータ制御の撮影カメラで、ハリウッド等で映画制作に日常的に利用されている。導入機器は、世界屈指の性能を有し高度な映像表現を可能にしている。

研究の目的：



実験機器構成：



研究テーマ：ATM回線における特殊映像機器遠隔利用実証実験(2/2)

(プロジェクト番号JGN-G12002)

研究機関：FROM沖縄通信コスト低減化研究開発協議会(株)アンフィニ・エンタテイメント・テクノロジー

研究開発状況：

本研究においては、沖縄と東京のそれぞれに設置した撮影スタジオと指示サイトをATM回線で接続して、映像データを互いに交換することが可能な実験設備を設置し、映像の確認を行いながら特殊映像の協調制作をおこなうものである。映像制作作業はアナログ的な判断を要する作業であり、指示者(監督)の意向伝達、映像データの伝送時間、映像品質等の関係を実証実験の中から解明していく。評価は感覚的な判断も伴う為、多くの共同実験者の協力を得て、複数の試験者によって長期的な測定を行う、という方法で実証実験を進めている。

1) 遠隔作業指示実証実験

双方向TV伝送機器により遠隔作業指示や遠隔スタッフ連絡会議の実証実験

2) 高品質映像の伝送実験

制作映像、編集映像、サンプル指示映像などの双方向伝送実証実験

3) 遠隔協調作業実証実験

撮影被写体のリアルタイム伝送表示機能を通じての遠隔協調作業実証実験

今後の予定：

本実験の意義をご理解戴き、将来の高度ネットワーク基盤がもたらす効率的な映像制作法を多くの映像関係者に見学戴き、さらに本実験に御参加戴くことで多くのサンプル実証を収集し、実証実験の精度を上げて行く。

将来の展望：

実証実験を通じて、高速ネットワーク技術により映像制作を高品質を維持したまま行えるとのデータが揃えば、近い将来、高い地価と非効率な設備投資に悩む事なく、遠隔地にある高価な特殊映像機器を利用し、制作作業が行う環境が整う事になる。